

# 県生協連 NEWS

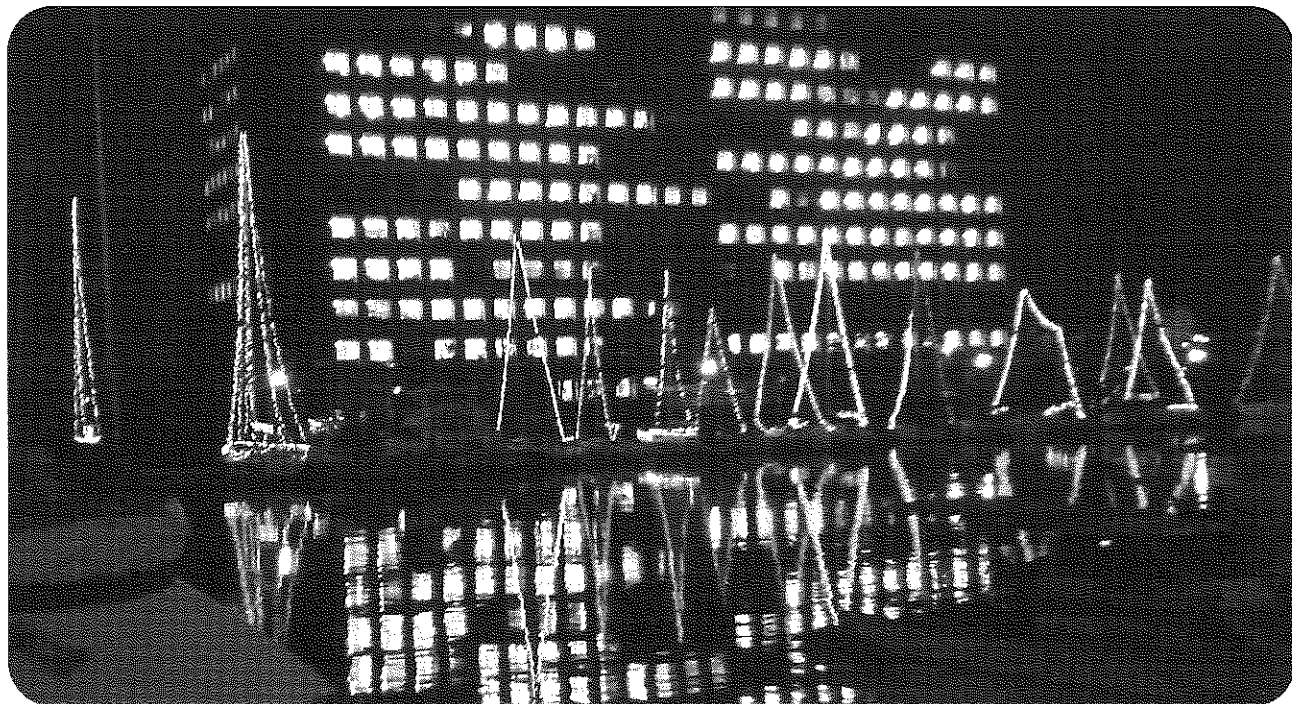
●発行：徳島県生活協同組合連合会

●発行日 2013年1月18日 (No.17)

●住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤の内30-3

●電話・FAX：088-698-0505

●HP :<http://tokushima.kenren-coop.jp/>

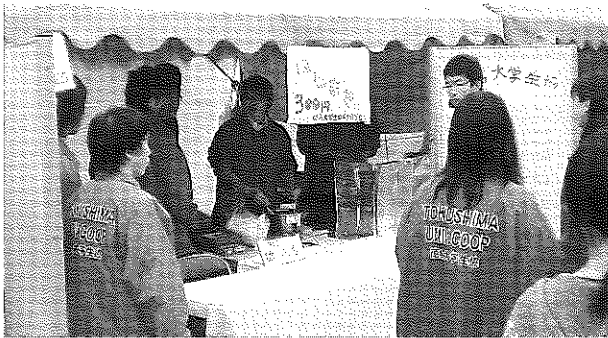
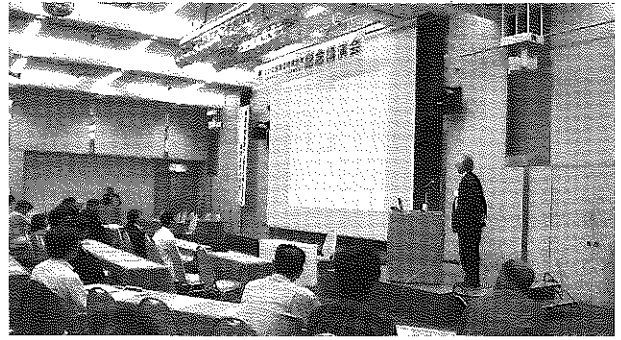


徳島県職員生活協同組合より  
ケンチョピアのクリスマスの夜景です。

## 目次

- p1 新年のごあいさつ (徳島県生活協同組合連合会：代表理事会長 阿部和代)
- p2 会員報告 徳島県学校生活協同組合、徳島県共済生活協同組合
- p3 会員報告 徳島健康生活協同組合
- p4 会員報告 生活協同組合コープ自然派しこく、徳島県職員生活協同組合
- p5 会員報告 徳島大学生生活協同組合
- p6 会員報告 生活協同組合とくしま生協

協同組合まつり&記念講演（2012国際協同組合年とくしま実行委員会開催）





## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

徳島県生活協同組合連合会 代表理事会長 阿部和代

2013年の幕が開きました。

国際協同組合年の2012年は全国で、また、この徳島で協同組合の関係団体が力を合わせて、時代の要請にしっかりと応えられる協同組合運動の発展のためにさまざまな取り組みがされました。とりわけ10月28日に開催された国際協同組合年記念の協同組合まつりおよび記念講演会は大盛況で改めて協同組合の姿を地域の皆様に知っていただく機会となりました。

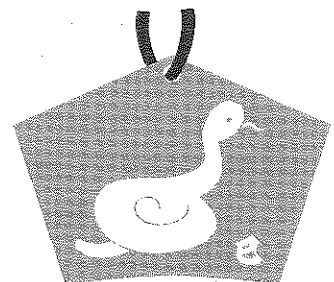
昨年末には総選挙があり、新しい内閣が誕生しましたが、人々の願いに心を寄せた政策とはほど遠いものがあります。

東日本大震災から1年10か月を経過しましたが、新しい年を自宅で迎えることが出来ない方が数十万人、福島では6万人の方が県外に避難しているという状況で、人々のくらしはととても復興とは言えない状況です。

一方、景気対策をかかげて誕生した政権は、公共事業の拡大と金融緩和をすすめると言いつつ、すでに株価などに影響が出ているようですが、その中身は景気対策に結びつく設備投資などではなく、ほとんどが海外投資家の投機の影響だということです。このままいきますと経済の混乱や所得が増えないのに物価だけが上がって景気回復どころか暮らしのひっ迫で消費がより低迷する可能性さえ懸念されます。

大震災からの復興、くらしの立て直し、真の景気回復と新しい年は課題いっぱいの年ですが、国際協同組合年で協同組合のとりくみへ大きな期待がよせられた、国連のミレニアム開発目標の達成、新しい市民社会の形成に向けて、非営利組織の協同組合が力を合わせていきたいと思っています。

1945年11月、戦争が終わって3か月で日本生協連の前身となる日本協同組合同盟が設立されました。人々が生きるために必死だった中、生協がいかに必要とされ、その事業や運動が待たれていたかがわかります。本年も県連加盟7会員生協が力を合わせ、徳島でその役割にふさわしく、その事業と運動を前進させていきたいと思っています。



本年もどうかよろしく願い申し上げます。

## ○徳島県学校生活協同組合

〒770-0874 徳島市南沖洲5丁目7-65  
TEL 088-664-3225 FAX 088-664-4332  
ホームページ <http://tokugaku.jp/>

●理事長 三原博志 ●専務理事 山下敏光  
●組合員数 8,217人 ●事業高 2.6億円

心を一つに

新年あけましておめでとうございます。

昨年は「国際協同組合年」であり、震災復興の為にひとりひとりが心を一つにして行動する年であったと思いますが、最近の世相は東北を想う心が少し薄れてきているような気がするのには私だけでしょうか。

私たちを取り巻く環境は益々厳しさを増しているように思います。迷走する政治、国際関係等の影響で景気が悪化し、産業の空洞化も進み、これまで日本を支えてきた中小零細企業は大きな打撃を受け廃業や規模縮小を余儀なくされ職を失う者も増加しています。

今後消費税が2014年4月1日から8%になり、さらに2015年10月1日から10%になると組合員の購買意欲はどんどん低下するでしょう。その上仮に教職員の給与カットが来年度も継続されると、大幅な供給減につながり学校生協の経営にとって大きな影響を与える可能性があります。

こういう時こそ厳しい現状を把握し後ろ向きにならず、賀川豊彦の「自分の一人の力は弱いかもしれぬが、十人・百人・千人の力を集めてここに一つの新しい強大な力を持たうといふのである」という団結力で学校生協役職員が組合員のため、社会のために前を向いて進まないといけないと思います。

2013年4月までに学校生協ではミッションとして、①生協に「聞いてみよう！相談してみよう！」意識の浸透、②ライフパートナーとしての生協の再構築を掲げ、組織・経営・事業・連帯に到達目標を決め3カ年計画をたてる予定です。

今年は激動の年になるかもしれませんが、学校生協の役職員が心を一つにして取り組んでまいりますので、本年もご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

(専務理事 山下敏光)



## ○徳島県共済生活協同組合

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1  
TEL 088-625-2340 FAX 088-625-2131  
ホームページ

<http://www.zenrosai-tokushima.coop/>

●理事長 川越敏良 ●専務理事 渡邊一雅  
●組合員 120,977人 ●事業高 0.3億円

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆さまにおかれましては、新たな気持ちで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、全労済運動、そして県本部の事業運営に格別のご理解とご協力、ご支援を賜り心から厚く御礼申し上げます。

昨年は、EU圏の経済危機に加え、領土問題を発端とする日中関係の冷え込みがありました。さらに、急激な円高とデフレが同時進行するという社会経済情勢によって、私たち勤労者を取り巻く生活環境は依然として非常に厳しいものがありました。

現在、東日本大震災の発生から2年が経過しようとしていますが、今なお被災地の人々の暮らしや心に大きな爪痕を残したままの状況です。このような状況の中、昨年も各地で発生した大規模な自然災害から鑑みると、地域や仲間との絆づくりの大切さや、日頃から東南海・南海地

震などの巨大地震への防災・減災の備えをしていくことの大切さを改めて再認識させられました。

一方、昨年は国連が定めた国際協同組合年として、協同組合運動が社会経済に果たす役割が評価されるとともに、その認知度を高める様々な取り組みも行われました。

全労済は、共済事業を行う生活協同組合として、協同組合運動の一翼を担い、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の理念の実現に向け、より一層の事業の拡大と展開によって、組合員と地域社会の生活を支え、底上げを図り、安心できる社会づくりに邁進いたします。

今後とも全労済へのより一層のご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げますとともに、皆さまの今後益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(理事長 川越敏良)

## ○徳島健康生活協同組合

〒770-8547 徳島市下助任町4丁目9

TEL 088-654-8363 FAX 088-625-0058

ホームページ <http://www2.tcn.ne.jp/~hcoopt/>

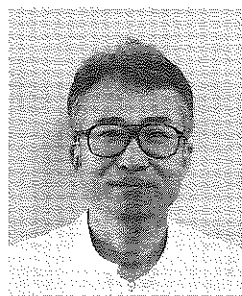
●理事長 児嶋誠一 ●専務理事 吉野才治

●組合員 43,116人 ●事業高 41.7億円

新年あけましておめでとうございます。

昨年の総代会で徳島健康生活協の「夢と願いを実現する新5ヵ年計画(骨子)」が確認され、約半年が経過しました。

高齢化が進むなかで、政府は「自立・自助」を住民に迫り、「医療から介護へ、施設から地域へ」シフトする政策をとっています。そのため、在宅療養の必要な方が



今後ますます増加していきます。

健康生協は新5ヵ年計画で、「住み続けられるまちづくり」の視点から、「新健生病院建設」を柱にしつつも、それに限定せず医療・介護・福祉の複合的なサービスの提供および組合員活動の拠点づくり、地域を支えていく生協づくりに取り組んでいきます。

現在の到達は、経営的にも仲間増やしにしても、目標に照らして十分とはいえない状況ですが、「地域まるごと健康なまちづくり」を実現するために、組合員と職員の協同で、力を合わせて前進させていきます。

また、今年は平和憲法を守る正念場の年になります。

昨年の総選挙で、自民党が単独過半数を占め、自民・公明両党で衆院の再可決が可能になる3分の2を超える議席を獲得しました。安倍総理は、憲法改正で「最初に行うことは96条の改正」と述べ、改憲の発議要件を衆参の3分の2以上から過半数に引き下げることへ意欲を示しています。

自民党の改憲草案では、平和憲法の本質である「前文」を削除し、第二章(戦争の放棄)の項目を(安全保障)に置き換えるとともに、「国防軍」を保持するなど危険なものとなっています。

このような改憲がなされれば、「自衛」どころか、アメリカが海外で行う戦争に、「集団的自衛権」の名のもと、「国防軍」が派遣される事態にまで発展します。さらに「国防軍」を維持するために「徴兵制」さえ行われる可能性を秘めています。

衆院選の当選者のうち、憲法改正の賛成派は9割、集団的自衛権の行使についての賛成派が8割を占めていますが、国民の過半数は「平和憲法を守れ」「9条を守れ」です。徳島県生協連がさらに力を合わせ、今こそ、この声を大きくして広げて行きましょう。

どうか本年もよろしくお願いいたします。

(理事長 児嶋誠一)

## ○生活協同組合コープ自然派しこく

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目43-3  
TEL 088-679-6781 FAX 088-664-8820  
ホームページ <http://www.shizenha.ne.jp>

●理事長 東條美紀 ●専務理事 山田道子  
●組合員数 12,474人 ●事業高 11.9億円  
(徳島センター内)

新年明けましておめでとうございます。

2012年4月1日、四国4県をエリアとした新生協「生活協同組合コープ自然派しこく・(組合員数2万9,000人、供給高32億円)」が事業スタートしました。

コープ自然派の共通の理念と四国4県それぞれの個性を融合することにより、新たな展開にチャレンジしています。各センター職員・スタッフ間の人事交流や研修会などを通して個人個人のスキルアップを図り、事業基盤の確立を一步一步進めています。

また、各センターの課題への対応および人員配置を行うことにより、これまで単独では難しかった取り組みも可能になってきました。これらることによって職員間の共通認識は高まりつつあり、仲間が増えることでの相乗効果が表れ始めています。

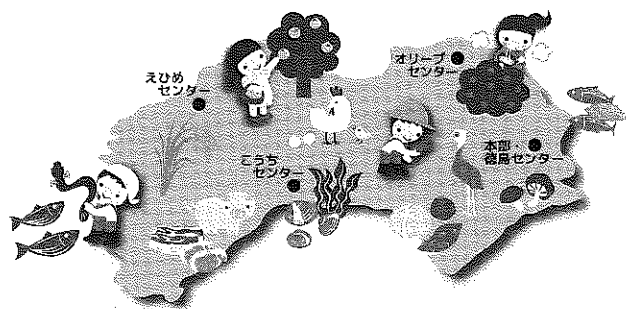
組合員活動では、今までの活動を継承すると共に2013年度以降の基本的な取り組みについて協議を進めています。「コープ自然派しこく」としての大きな柱の基で各センターの組合員活動がいきいきと発展するように知恵を出し合っています。

2013年3月3日(日)には「コープ自然派しこく合併記念コンサート チェコ・フィルストリング・カルテット」を高松市のアルファあなぶきホールで開催します。各センター理事で実行委員会を構成し、たくさんの組合員さんに参加していただけるように協議を重ね準備を進めています。

このように役職員一同「しこくはひとつ！」を合言葉に広域生協としての基盤創りに取り組んでいます。

まだまだ未熟ですが「コープ自然派しこく」を、よろしくお願ひいたします。

(専務理事 山田道子)



 生活協同組合 コープ自然派しこく

## ○徳島県職員生活協同組合

〒770-8570 徳島市万代町1丁目(県庁内)  
TEL 088-621-3061 FAX 088-624-0170  
●組合長 高橋徹 ●専務理事 後藤英与  
●組合員数 3,948人 ●事業高 2.6億円

新年、おめでとうございます。

昭和24年8月に産声を上げた私たち徳島県職員生活協同組合は、すでに還暦を過ぎ、どの組合員よりも高齢者となりました。また、県内の各生協さんの中でも最古参の部類だと思っております。

その歴史を振り返って見ると、発足以来、毎年拡大拡張を続け、平成2年には組合員数が約5千人、平成4年には事業高が約10億円と、それぞれのピークを記録しましたが、その後は、ずっと右肩下がりで、事業所の廃止や事業部門の閉鎖などを経て、ついに昨年秋には、新県立中央病院の開院に合わせて県立3病院の売店事業からも撤退し、現在、直営事業は県庁舎11階の食堂と地下の売店の2事業だけとなりました。

ところで、我が国は、「百年に一度の経済危機」と「千年に一度の大震災」によって、まさに国

難に遭遇し、昨年末には御承知のように、オセロのような劇的な政権交代も行われました。

このような激動の時代の中で、徳島県は飯泉知事のリーダーシップの下、徳島こそが「確かな羅針盤」となり、課題解決先進県として「日本の再生」をリードするため、「いけるよ！徳島」を合言葉に、大幅な職員数の削減や禁じ手の給与カットにもめげず、職員一人ひとりが創意工夫を凝らした政策展開に挑戦しています。

昨今、当生協の基本理念でもある「公務員である職員の福利厚生」に対しては、非常に厳しい風が吹いておりますが、本県のように必死に頑張っている職員を陰で支えるツールの一つとしての「福利厚生」、とりわけ当職員生協の役割は、極めて重要だと改めて感じているところであります。本年は当生協として、ダーウインの「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」の言葉をかみしめ、「創造的実行力」を具体的に発揮してまいりたいと考えております。

本年もどうかよろしくお願いいたします。

(組合長 高橋 徹)

## ○徳島大学生生活協同組合

〒770-0814 徳島市南常三島1丁目1

TEL 088-652-1073 FAX 088-626-5811

ホムパース

<http://ha1.seikyou.ne.jp/home/tokushima-shop1/>

●理事長 井本逸勢 ●専務理事 清水麻理子

●組合員 10,736人 ●事業高 12.1億円

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。昨年初めて取り組んだ留学生企画と、来年5月にオープンする蔵本食堂についてご紹介いたします。

留学生と仲良くなる

FriendShip 計画

日本の学生と留学生とが交流する機会が少ないので、おしゃべりやゲームをして、異文化交流をすすめるという企画です。苦手な英語も留学生と交流することで楽しく学ぶきっかけになります。

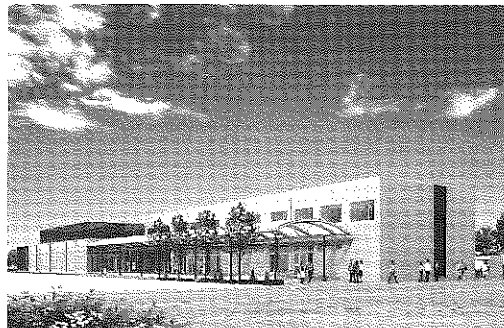


2013年5月 蔵本キャンパスに

生協食堂が新規オープンします！

永年の組合員の想いがようやく実現します。

「食」の楽しさ、大切さを知り、学生自らが食に関心をもち、自立した食生活をおくれる力を身につけてもらいたいと願っています。組合員の憩いの場、大学生活を支えるお店にしていきたいと思っております。



(専務理事 清水麻理子)

## ○生活協同組合とくしま生協

〒771-0289 北島町中村字東堤の内30-3

TEL 088-698-0505 FAX 088-698-8872

Eメール webmaster@tokushimaseikyuu.or.jp

ホームページ http://www.tokushimaseikyuu.or.jp

●理事長 阿部和代 ●専務理事 梶原樹

●組合員数 99,904人 ●事業高 95.9億円

新年明けましておめでとうございます。

東日本大震災から1年10ヶ月が経過しましたが、まだまだ復興の道のりは遠く、継続した支援が必要です。とくしま生協では、いわて生協の被災地をまわる移動販売車【ニコちゃん号】購入支援、いわて生協の仮設住宅でのふれあいサロン活動支援、安心して住める『福島』を取り戻すための募金や署名などに協力しています。

昨年は国際協同組合年でした。県内の他の協同組合と力を合わせてイベントを開催し、協同組合まつりには15,000人、記念講演には200人の参加があり、協同組合を県民に大きくアピールすることができました。厚く御礼申し上げます。

年末の総選挙では民主党が大敗しました。民主党は長年続いた自民党の悪政に終止符をうつ、国民のための政治をする、と言って政権をとりました。国民は大いに期待しましたが、公約が実現できなただけでなく、消費税の増税を決めるなど国民の意に反する政治を行いました。

自民党は圧勝しましたが、それは国民の期待に反した民主党への批判票が多かったからだと思います。安倍総裁は選挙中しきりに「取り戻す」「取り戻す」と言っていたが、以前のような悪政を取り戻すことのないようお願いしたいものです。

さて、今回自民党は小選挙区で237議席(議席占有率79%)を獲得しましたが、自民党の得票率は43%です。比例区での自民党の得票率は27%で、政党としては4人のうち1人程度にしか支持されていない政党が、議席の過半数を占めているのです。いろんな考え方の人がいるのは当たり前です。その民意を正確に国会

に反映させることが大切だと思います。たとえば憲法改悪反対が国民の6割以上であっても、国会がその逆になっていたとしたらおかしいことになります。

小選挙区制度は国民の民意を正確に国会に反映させることはできません。この選挙制度では少数意見はますます切り捨てられてしまいます。1票の格差がたびたび問題にされますが、たとえば乱暴ですが、全国1区の比例代表制にすれば格差問題はなくなり、民意を正確に議席数に反映できます。国民の政治離れ止め、国会と国民の感覚のズレを小さくするためにも、死票をなくし、正確に民意を反映できる選挙制度に改革することが大切だと思います。

来年4月から消費税は8%です。組合員のくらはますます厳しくなり消費の低迷が予想されます。とくしま生協は来年30周年を迎えますが、消費税の増税を乗り切れるように経営力量をつけて、しっかり組合員の期待にこたえられるようになり、30周年をみんなでお祝いできるようにしたいと思います。本年もどうぞよろしく願います。

(常勤理事 細川尚光)

